

【令和2年8月18日実施】

依存症は、アルコールや薬物の摂取、ギャンブル等の行為を繰り返しているうちに、それをコントロールする脳の機能が弱まってしまう病気です。

行政としても、依存症の問題に取り組んでいるところですが、①依存症が、個人に与える影響、家族などまわりに与える影響など具体的な問題、②依存症からの回復を支援するために、行政としてどのような取組が有効と考えるか、①・②それぞれについてグループで話し合い、意見をまとめてください。

【令和2年8月19日実施】

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律は、平成13年10月（一部は平成14年4月）に施行され、被害者に対する支援の取組が進められています。一方、警察における配偶者からの暴力事案等の相談等件数は、平成14年には14,140件でしたが、平成30年では77,482件と約5.5倍に増加しています。また、内閣府「男女間における暴力に関する調査」（平成29年度調査）では、配偶者から身体的暴行、心理的攻撃、経済的圧迫、性的強要のいずれかを1つでも受けたことがある女性は約3割、男性は約2割に及んでいます。

そこで、①配偶者からの暴力は被害者や家族にどのような影響を与えるか、②配偶者からの暴力を防止するために、行政としてどのような支援や取組が有効だと考えるか、①・②それぞれについてグループで話し合い、意見をまとめてください。

【令和2年8月26日実施】

対人援助の職場ではストレスフルな状況になることがよくみられるため、支援者のストレスケア、その中でもセルフケアが重要です。例えば、大きな災害や事件、感染症のパンデミックの際には、第一線に対応にあたる支援者は、業務量の増大や、悲惨な状況の目撃による二次被害の受傷等がみられることもあります。

このような対人援助の中で生じるストレスに対して、①支援者自身が取り組むべきセルフケアの具体的な内容、②職場の職員同志で留意すべきこと、①・②それぞれについてグループで話し合い、意見をまとめてください。